

平成30年8月17日(金)

県政 F ネット

感染症の予防のための  
情報提供について

連 絡 先
三重県医療保健部 薬務感染症対策課 感染症対策班 担当：小掠・原 電話： 059-224-2352

病 名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157)		
年齢及び性別	70代・女性	職 業	無職
住 所	松阪市		
発病年月日	平成30年 8月 12日		
診断年月日	平成30年 8月 16日		

(患者発生の経過)

8月12日 下痢(7~8回/日)の症状がみられた。  
 8月13日 腹痛、下痢(10回以上/日)、血便の症状がみられた。  
 8月14日 症状が継続したため、松阪市内の診療所を受診し、同市内の病院へ紹介入院となった。  
 8月16日 徐々に症状の軽減がみられた。  
 8月14日の便検査から、腸管出血性大腸菌感染症と診断された。  
 8月16日現在、患者は入院中ですが快方に向かっています。

【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施(松阪保健所)

【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】(四日市市保健所分を含む)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
患者	39	27	29	29	16
保菌者	19	10	15	13	9
計(感染者)	58	37	44	42	25

※平成30年1月1日~平成30年8月17日現在まで本件含む

平成30年内訳 患者：O157(11人) O26(2人) O111(1人) O121(1人)  
O165(1人)

保菌者：O157(7人) O121(2人)

【自分でできる対策】

1 予防の3原則

① 加熱(菌を殺す)

この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。  
 肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。  
 ひき肉は、十分に加熱をしましょう。  
 焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。  
 井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。

② 迅速・冷却(菌を増やさない)

調理した食品はすぐに食べましょう。  
 冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫(10℃以下)や冷凍庫(-15℃以下)に入れましょう。

③ 清潔(菌をつけない)

手指や調理器具は十分に洗いましょう。

2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。

3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。